

大会規則書

第1章 総則

本大会のすべての参加者は本規則を理解し、これに同意したものとする。

- 第1条 大会の名称
World Econo Move Chiba in NATS 2009 (略称 WEMC in NATS 2009)
- 第2条 主 催
WEMC in NATS 2009 実行委員会
- 第3条 後 援
学校法人 日栄学園
日本省エネカー研究会
- 第4条 協 賛
古河電池株式会社
- 第5条 大会組織
別に定める。
- 第6条 開催場所
千葉県成田市桜田296-38
日本自動車大学校 Automotive Park NATS サーキット
- 第7条 開催日
平成21年10月3日(土) : 練習、予選
10月4日(日) : 決 勝
- 第8条 大会事務局
〒287-0217
千葉県成田市桜田296-38
日本自動車大学校
自動車研究科 佐藤靖彦
TEL:0476-73-5507 , FAX:0476-73-5508
Email: y_sato@nats.ac.jp
- 第9条 参加費
詳細は参加要項に定める。

第10条 参加資格

大会当日に満15歳以上の者であること。ただし、チームの代表者は満20歳以上であること。

第11条 参加募集台数

原則として60台までとする。それを超えた参加申し込みに対しては、参加受理できない場合がある。

第12条 規則の改定

本大会規則は大会実行委員会により、改訂することができる。

第13条 規則の解釈

本規則に規定されていない事項については、本大会の実行委員会が判断を下すものとする。

第14条 異議の申し立て

競技結果に対し異議を申し立てる場合は、暫定結果発表後30分以内に、書面により大会本部に提出すること。

第15条 ブリーフィング

各チームの代表者とドライバーはブリーフィングに参加しなければならない。

第16条 事故などの責任

すべての参加者、参加車両は事故・損失により損害が生じた場合、自己の責任において一切の処理を行わなければならない。

第17条 公式通知

本規則に規定されていない事項については、公式通知、ブリーフィング、場内アナウンスにより通知される。

第2章 競技規則

この競技は創意工夫により、与えられたエネルギーをより高効率で使うことを競うものである。

第18条 コース

高低差4m、最大勾配4%、1周1110mのコースを時計回りで周回する。

第19条 競技方法

- ① 主催者が支給する鉛バッテリー（第29条に定める物）2個を用いて、1周1110mのコースを2時間の制限時間内に何周できるかを競う。
- ② スターティンググリッド上からの一斉スタートとする。
- ③ スタート後、競技中の注意は別に定める。
- ④ スタートから2時間経過した時点で競技の終了とする。
- ⑤ 同じ競技方法で予選と決勝を行う。

第20条 成績

- ① 順位は競技時間内により多く周回した車両を上位とする。
- ② 競技時間終了時点で同一周回数の場合は、最終周回のコントロールライン通過時間の早い車両を上位とする。
- ③ 荒天等により決勝が行われなかった場合は、予選の順位を成績とする。

第21条 スターティンググリッド

- ① 予選はゼッケン番号順にグリッドに並ぶ。
- ② 決勝は予選の成績順にグリッドに並ぶ。なお、予選不参加車両は後列スタート（複数の場合は抽選）とする。
- ③ 制限時間内にスターティンググリッドに並べなかった車両は、オフィシャルの指示によりピットエリアからのスタートとする。

第22条 競技中の注意

- ① 黄旗：危険予告・走行注意
- ② 赤旗：速やかに全車両停止
- ③ ドライバーを除くすべての参加者は、競技中にコース内に入ることも、車両に触れることもできない。ただし、安全確保のための緊急時を除く。
- ④ 競技中にコース内で車両が停止した場合は、オフィシャルの指示により、ドライバーは速やかに車両から降車し、安全確保のため車両と共に進行方向左側のコース外へ移動する。
- ⑤ ④において停車中の車両は、ドライバーが自力で修理等を行って走行可能となった場合、オフィシャルの確認を得て再スタートできる。その際の再スタート位置は車両が停止した位置の左右に関わらず、進行方向左側のコース端とする。
- ⑥ ピットエリア内においては、オフィシャルの監視の下、ドライバー以外のチーム員も車両の修理等が行える。
- ⑦ スタート時、明らかなフライングが確認された場合は、ピットインのペナルティが科される。

第23条 競技の中止

荒天等により、参加者の安全が確保できないと大会本部が判断した場合、競技を中止することがある。

第24条 失格

- ① 競技中にオフィシャル以外の人的な補助による走行が確認された場合。
- ② 競技中に支給されたエネルギー源以外による走行が確認された場合。
- ③ 競技終了後、ドライバーの体重(ウエイトを含む)が規定以下であった場合。

第25条 競技クラス

- ① 高校生および教員を主たるチーム員として構成され、高校生がドライバーを務めるチームをジュニアクラスとする。
- ② ①以外のチームをオープンクラスとする。
- ③ ①に該当するチームが、オープンクラスとしてエントリーすることは可能である。

第26条 賞典

すべての参加チームの中から第1位～第3位までを表彰する。また、ジュニアクラスの第1位～第3位までを表彰し、その他に特別賞を設ける。

第3章 車両規定

第27条 車両

- ① 車両構造
ドライバーの安全を確保できる十分な強度・剛性を有すること。
- ② 車両サイズ
全長3.0m以内、全幅1.2m以内、全高1.6m以内とする。
- ③ トレッド及びホイールベース
特に規定は設けないが、停止時に人的な補助なしに車両が自立できること。
- ④ 走行装置
人力等を含め、バッテリー以外のエネルギーにより、走行補助が可能な機構の装備は一切認められない。(回生エネルギーを除く)
- ⑤ ブレーキ
ドライバーが搭乗した状態で、8%勾配のパネル上に制止可能なブレーキを装備すること(系統数・形式などは問わない)。
- ⑥ 主催者が支給するA5サイズのゼッケンを、側方から確認できる場所で左右2カ所に貼れる構造であること。

第28条 モーター

特に制限はしない。

第29条 バッテリー

古河電池：FT4L-BSを2個、大会当日の受付時に支給する。
なお、支給されたバッテリーを破損させた場合は失格とする。充電や加温は自己責任において行うこと。

第30条 安全性

- ① ドライバーは JIS 規格または SNELL 規格の 2 輪または 4 輪車用ヘルメットを着用すること。
- ② ドライバーは長袖のスーツ、グローブ、靴を着用すること、素材は難燃性を推奨する。
- ③ 左右後方を確認できるバックミラーを装着すること。
- ④ 警笛として使用することを目的とした装置を装備すること。
- ⑤ 駆動チェーン及びスプロケットを使用している場合は、チェーンカバーを付けるか、ドライバーとチェーン部が車体内部の壁などにより仕切られていなければならない。
- ⑥ 車両からドライバーが自力で脱出できる構造であること。
- ⑦ 車両の内外に危険な突起がないこと。
- ⑧ 30V以上の電圧を使用する場合は、高圧警告表示しなければならない。
- ⑨ 車検委員が安全上、改善が必要であると指摘した場合は直ちに改善しなくてはならない。

第31条 ドライバー

- ① ドライバーの体重は搭乗状態で 55kg 以上とし、不足分はウェイト(分割可)で補う事とする。なお、ドライバーの服装は車検時と走行時で同じであること。
- ② ウェイトの材質などは問わないが、あくまでも規定体重を補う目的の物とし、車両の機能に影響を与える物や車載工具、データ収集装置類はウェイト重量と見なされない。
- ③ ウェイト及びドライバーの体重は、車検時及び競技終了後の再車検時に確認する。

第32条 車両検査(車検)

- ① 競技に参加するすべての車両は、車両検査により車両規則に適合することの確認を受けなければ、練習走行、予選、決勝においてコース内を走行することはできない。
- ② 競技終了後に再車検を行う。

第33条 補足

- ① 無線機、携帯電話などの通信機器の搭載を認める。ただし、走行中はハンズフリー装置を使用すること。
- ② 競技には支給されたバッテリーを使用するが、練習走行時は他のバッテリーの使用を認める。
- ③ スターティンググリッド上での充電は禁止とする。
- ④ 競技中は走行用電池以外、直接走行に寄与する電池の搭載は認めない(⑤に示す物を除く)。

- ⑤ メーター類、データ収集装置などの別電源を乾電池やボタン電池に限り認めるが、直接走行に寄与しないことを車検時に容易に確認できること。
- ⑥ モーターの駆動エネルギーとなる大容量コンデンサーの使用を認めるが、スタート前に放電（残電圧は総耐圧の1/10以下とする）されていることを証明をしなければならない。

第4章 その他

第34条 参加者の義務

すべての参加者は競技の趣旨を理解し、この大会が円滑に運営できるよう協力する義務を負う。

第35条 肖像権

この大会の広報活動における、参加者および参加車両の肖像権はWEMC in NATS 2009 実行委員会に提供するものとする。